

2009年8月期 決算補足資料

2009年10月14日

2009年8月期の振り返り

2009年8月期の取り組み事項

業績面

カラオケ事業、ISP事業、人材事業の低迷、特別損失等により大きく未達成

- ・売上高 : 2,102億円
- ・営業利益 : 20億円
- ・純利益 : 595億円

事業面

リストラの徹底

- ・早期希望退職(356名)を含む人員数の大幅削減(今期2,475名の削減)
- ・不採算子会社の整理((株)ユーズマーケティング等 他10社)

キャッシュフロー経営への注力

- ・代理店を経由したMAB(Music Air Bee:個人向け放送サービス)の販売停止
- ・不要電線撤去等の投資の抑制

映像・コンテンツ事業の再編

- ・(株)ショウタイムを楽天(株)に譲渡
- ・(株)ギャガ・コミュニケーションズを譲渡し映画事業より撤退
- ・(株)GyaOをヤフー(株)へ過半数を譲渡

財務面

財務基盤の早期改善

- ・優先株式発行(39億)、第三者割当増資(15億)
- ・インテリジェンスの完全子会社化(138億)等による純資産の向上
- ・一方、連結のれんの減損損失(276億)やその他特別損失の発生により純資産は大幅に減少。結果、純資産は25億円に

カラオケ・ISP・人材事業において
大幅な未達になるものの
リストラや不採算事業を整理

財務基盤は脆弱であるものの
早期に黒字化を実現し、
安定した収益基盤の確立を目指す

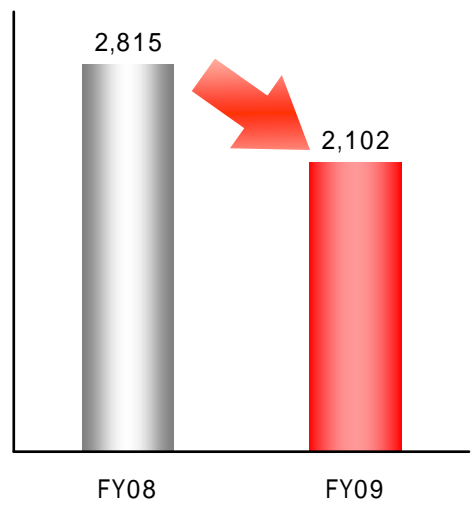
1

2009年8月期 経営成績

■ FY08 連結会計年度実績
■ FY09 連結会計年度実績

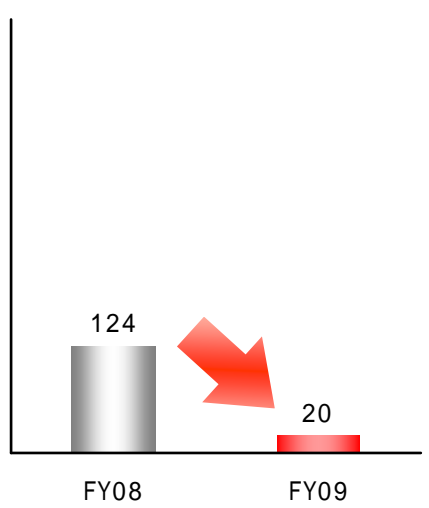
売上高

【億円】



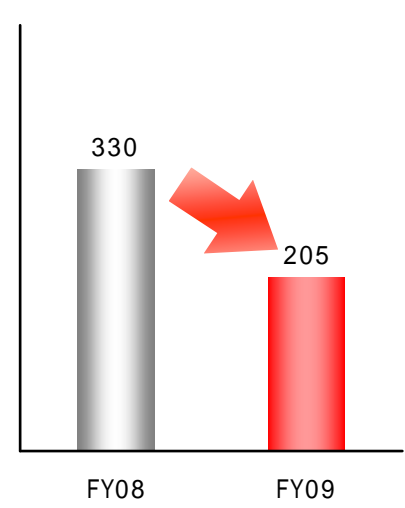
営業利益

【億円】



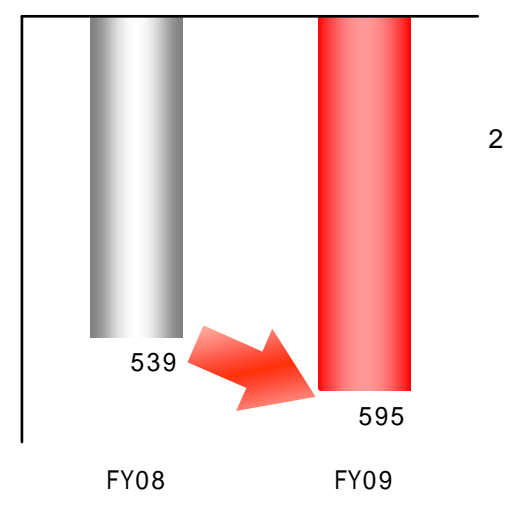
EBITDA

【億円】



当期純利益

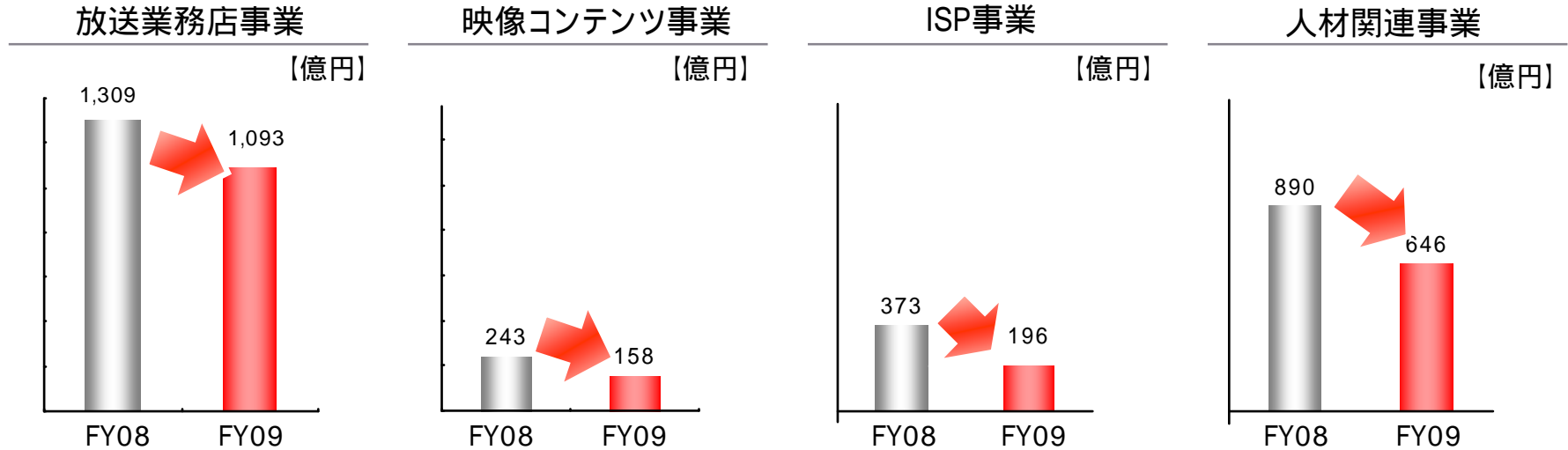
【億円】



2009年8月期 経営成績 -セグメント別-

売上高

■ FY08 連結会計年度実績
■ FY09 連結会計年度実績



放送事業
 ・業務店向けは安定的に推移
 ・個人向けはMAB 販売停止や、FY08の契約者数減少がFY09に影響し68億の減収

カラオケ事業
 ・景気低迷の影響によるナイト市場縮小により110億の減収

業務用システム事業
 ・金融情勢の影響で顧客の新規設備投資需要が減退し36億の減収

GyaONEXT
 ・契約者数は増加するものの5億の減収
 ・USEN on フレッツとのセット販売に注力

事業撤退
 ・(株)GyaOの合併化や、(株)ギャガコミュニケーションズの売却により、売上高は大きく減少(85億)

ISP事業
 ・イニシャルインセンティブによるフレッツ販売の低迷
 ・U'S ISPの譲渡が影響し減収

人材紹介事業
 ・景気悪化による求人数の減少により紹介事業の決定人数は大幅に減少

派遣アウトソーシング事業
 ・製造派遣事業の撤退による減収

メディア事業
 ・景気悪化による求人出稿社数の大幅な落ち込みにより減収

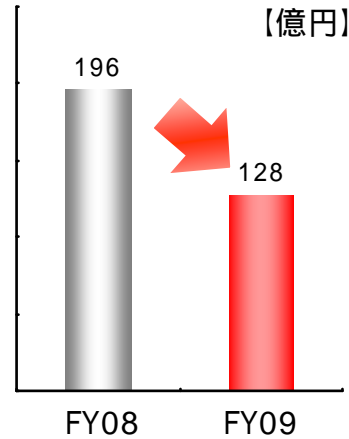
MAB=Music Air Bee(衛星波を利用した個人宅向け音楽放送サービス)

2009年8月期 経営成績 -セグメント別-

営業利益

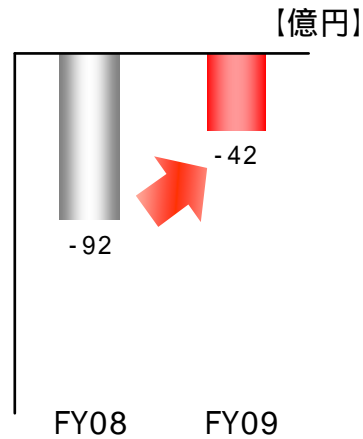
■ FY08 連結会計年度実績
■ FY09 連結会計年度実績

放送業務店事業



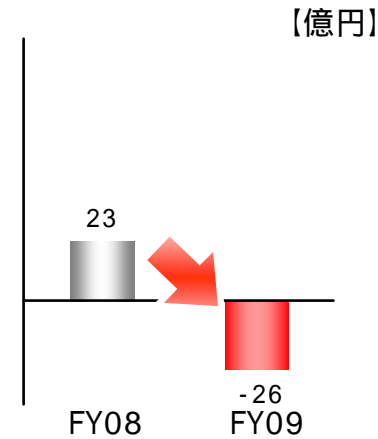
- 放送事業**
- ・業務店向けは安定的に推移
 - ・個人向けはMAB の販売を停止したことによる売上減少が響き15億の減益
- カラオケ事業**
- ・景気悪化の影響を受け43億の減益
- 業務用システム事業**
- ・売上減により約9億の減益

映像コンテンツ事業



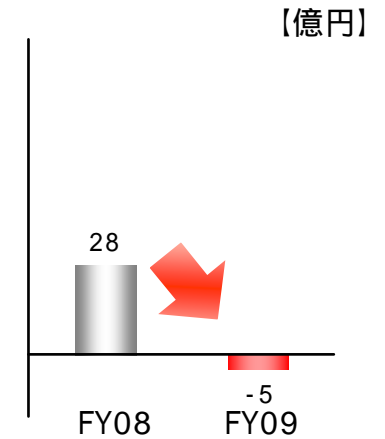
- GyaONEXT**
- ・売上計上基準の厳格化に伴う減益(4億)
- 映像コンテンツ事業**
- ・(株)GyaO、(株)ギャガコミュニケーションズの譲渡による赤字幅縮小(39億)

ISP事業



- ISP事業**
- ・フレッツ販売に営業人員を増強させるものの生産性が想定どおり向上せず固定費が増加
 - ・U'S ISPの譲渡による減益(11億)

人材関連事業



- 人材関連事業**
- ・人員削減やマーケティングコスト等の販管費圧縮を推し進める
 - ・売上減少による粗利の減少を補えず減益

MAB=Music Air Bee(衛星波を利用した個人宅向け音楽放送サービス)

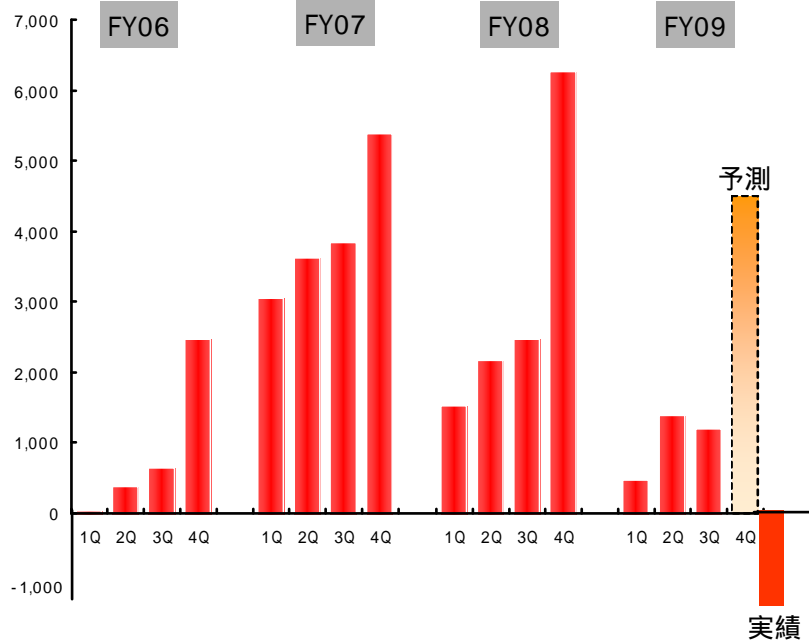
2009年8月期 第4四半期の未達成要因

これまで第4四半期での営業利益の比重が高く、今期についても達成を見込んだものの、下記要因により大幅な未達成に

営業利益の四半期毎推移

【第3四半期決算補足資料より】

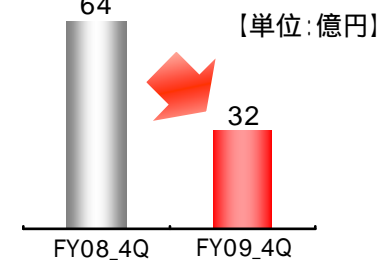
【単位：百万円】



第4四半期の未達成要因

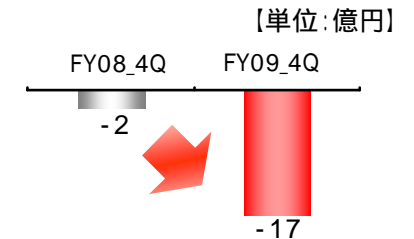
放送業務店事業

- ・有線放送事業は堅調に推移
- ・景気減速によるカラオケ事業のナイト市場縮小のため利益減少



映像コンテンツ事業

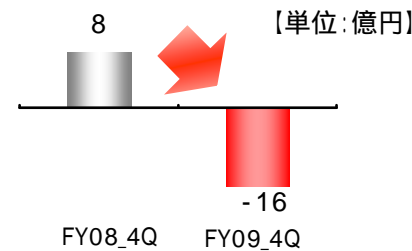
- ・ギャガコミュニケーションズが連結から外れたことによる減益
- ・GyaONEXTにおいて売上計上基準の厳格化による減収(8億)、減益(4億)



5

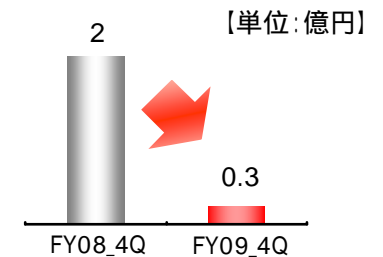
ISP事業

- ・フレッツ営業に大きく人員をシフトしたものの、生産性の向上が想定を下回ったため人員増の人件費負担が増加し利益減少



人材関連事業

- ・主力の人材紹介ではサポート人数が伸び悩み利益減少
- ・メディア事業では景気悪化に伴い広告出稿社数が大きく減少したことで利益減少



2009年8月期 特別損失について

子会社(株)BMB、(株)インテリジェンスののれんの償却により特別損失を計上

特別損失の内訳

第3四半期までの実績

第3四半期合計額	28,874	貸倒引当繰入額、減損損失、前払代理店手数料償却、固定資産除却損、その他
----------	--------	-------------------------------------

第4四半期での計上額

項目	金額【百万円】	主な内容	6
のれん償却	27,657	連結子会社(株)インテリジェンス(16,252百万)、(株)BMB(11,405百万)ののれん償却	
子会社整理損失等引当金繰入	4,468	BMB等の整理損失	
その他	326		
第4四半期合計	32,453		

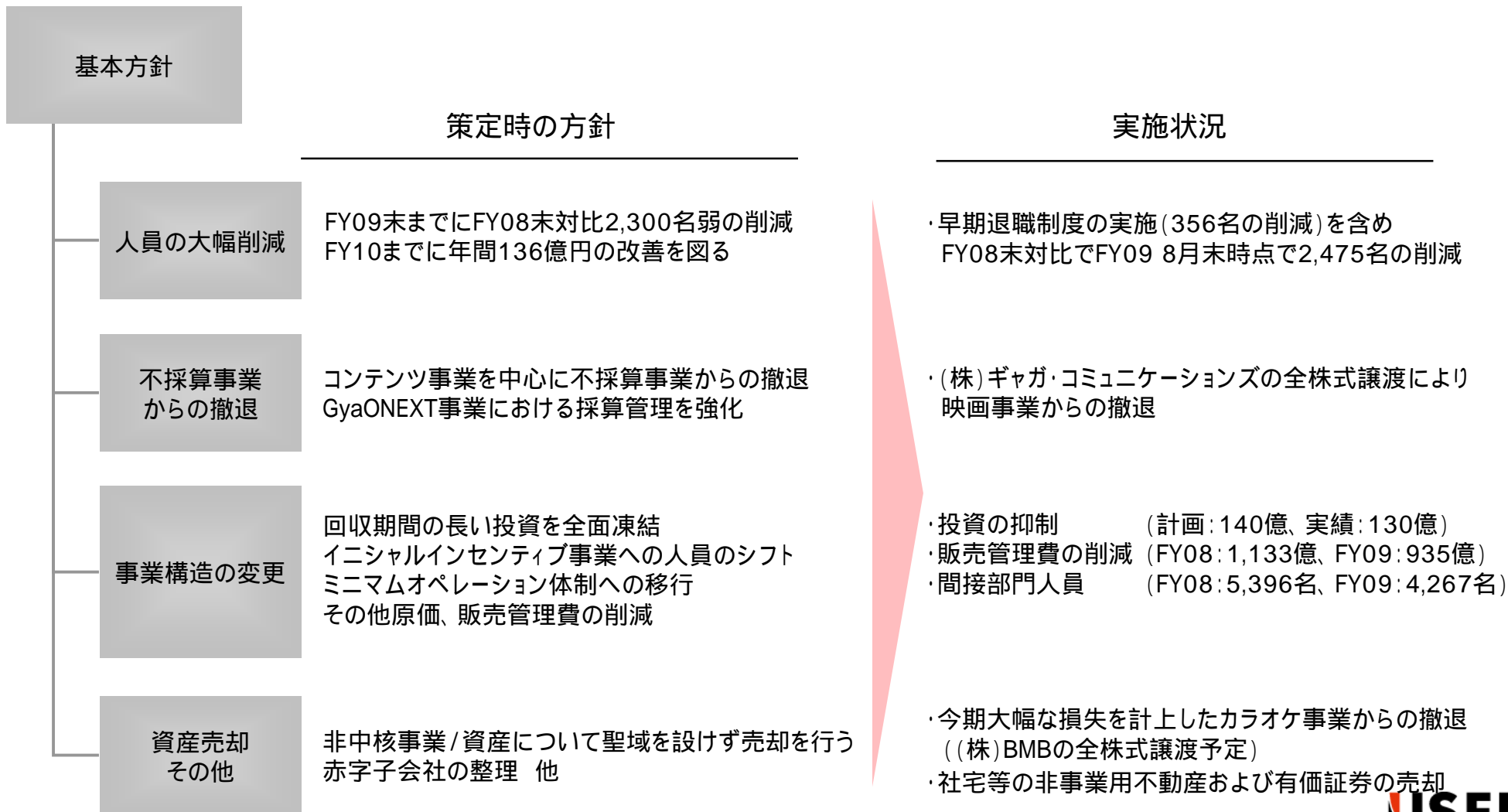
2009年8月期 合計	61,327
-------------	--------

2009年8月期の取組み事項

	1Q	2Q	3Q	4Q
売上(百万円)	61,631	54,957	48,716	44,932
営業利益(百万円)	480	1,384	1,196	1,004
純資産(百万円)	57,438	60,437	36,112	2,509
総資産(百万円)	271,361	266,955	245,592	201,763
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)インテリジェンスとの株式交換を実施 純資産増 138億円 ・(株)U'S ISPを(株)UCOMへ譲渡 純資産増 36億円 ・カラオケ事業にて新商品の「UGA NEXT」を発売 ・役員報酬返上、役員数削減、管理職月額報酬減額を実施 ・GyaO事業の分社化 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1種優先株式の発行 純資産増 39億円 ・(株)インテリジェンスにて人員削減を実施 ・間接部門から営業部門への人員の再配置 ・GyaONEXT、Music Air Beeの販売方法の凍結 ・「THE NEXT PROJECT」の計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)ショウタイムを楽天(株)へ譲渡 純資産増 15億円 ・(株)光通信および宇野への第三者割当増資を実施 純資産増 15億円 ・フレッツとの併売による映像商材と個人向け音楽商材のセット販売を促進 ・(株)GyaOをヤフー(株)と合併 当社出資比率は50%未満に ・USEN、BMB、アルメックスで希望退職制度の実施 ・販売子会社(株)ユーズマーケティングの整理 ・シンジケートローンの変更契約を締結し純資産条項は治癒 	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)ギャガ・コミュニケーションズを(株)ティーワイリミテッドおよび(株)キノシタマネージメントへ譲渡 ・(株)インテリジェンス及び(株)BMBにおける連結のれんを大幅に減損 特別損失 276億 ・(株)BMBをブラザー工業(株)への売却に関する基本合意書締結を発表

「THE NEXT PROJECT」の第4四半期の活動状況

第4四半期においても、基本方針に従い、固定費削減のための人員削減、不採算事業からの撤退及び資産売却を実施



連結子会社(株)BMBの株式譲渡に関する基本合意書の締結について

譲渡の目的

経営体質強化に向けた選択と集中および有利子負債の削減

今後のスケジュールについて

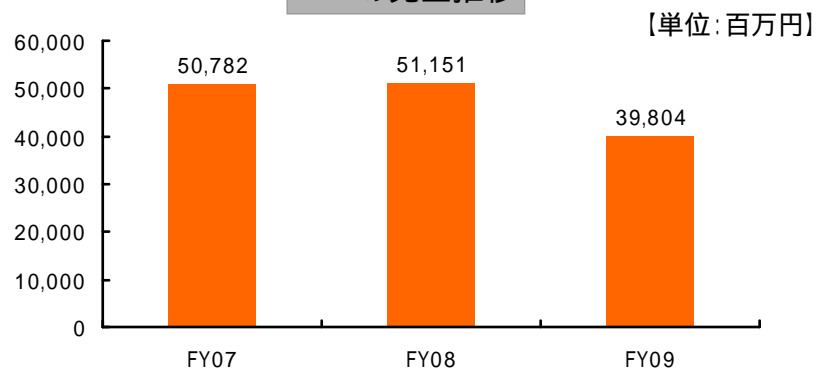
2009年9月30日	基本合意書の締結
2009年10月30日(予定)	株式譲渡契約書の締結
2009年11月中(予定)	株式譲渡期日

諸条件について

詳細の条件については、現在交渉中であるため、10月30日の株式譲渡契約を締結後に公表を予定

BMBについて

BMBの売上推移



株式会社BMB 事業概要

カラオケ機器関連事業

- UGAブランドを中心とするカラオケ機器の製造・販売・賃貸
- 機器販売に基づく売上高に加え、機器賃貸料や、稼働台数に基づく情報料収入等
- 主要製品

コマンド



周辺機器



カラオケルーム運営事業

- 子会社のスタンダードとタイカンエンタープライズによって運営
- U-STYLE等のブランドを通じ、全国で96店舗、約3,000ルームのカラオケルームを運営
- 主要展開ブランド

U-BOU



U-STYLE



el-notes

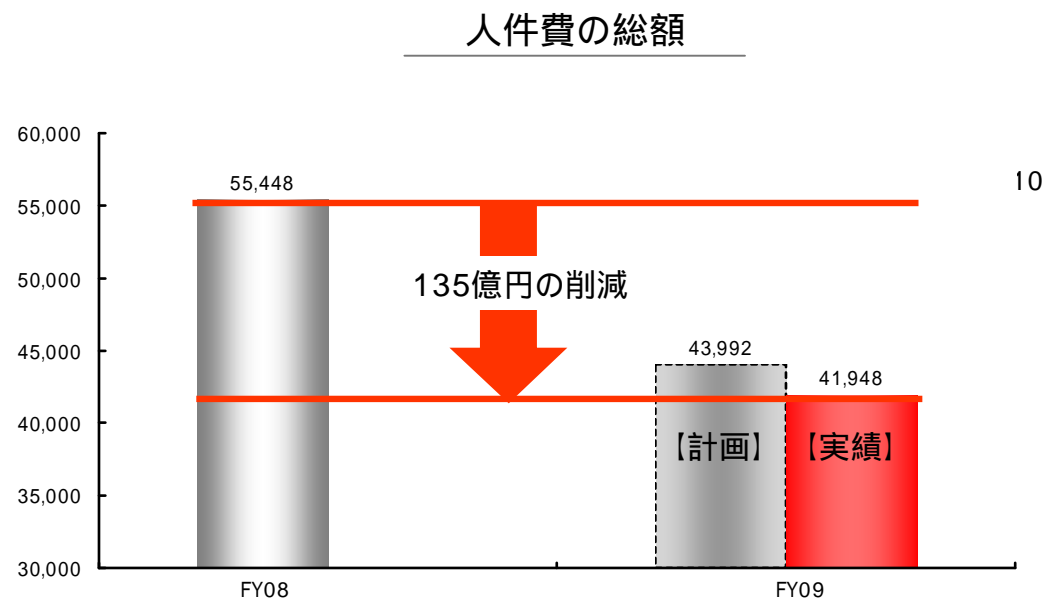
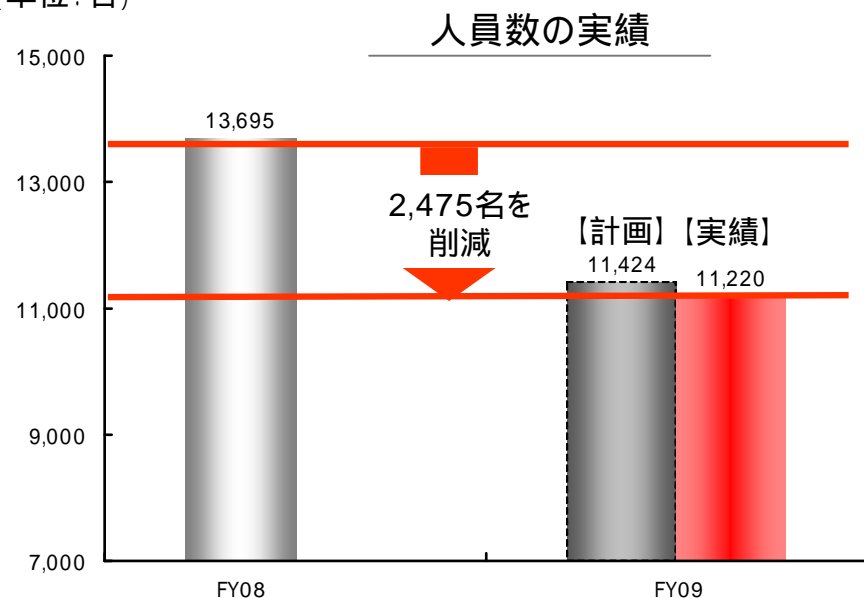


人員効率化の状況について

人員数の状況

- ・2008年8月からの減少人数
2,475名(早期退職制度による356名含む)
- 「THE NEXT PROJECT」のほぼ計画通りの進捗状況で推移

(単位:名)



人員数は従業員・臨時従業員の合算数値

人件費総額は有価証券報告書開示数値に他勘定振替(資産又は特別損失計上)、開発労務費(資産)等への振替分を合算した数値

2010年8月期 業績予想について

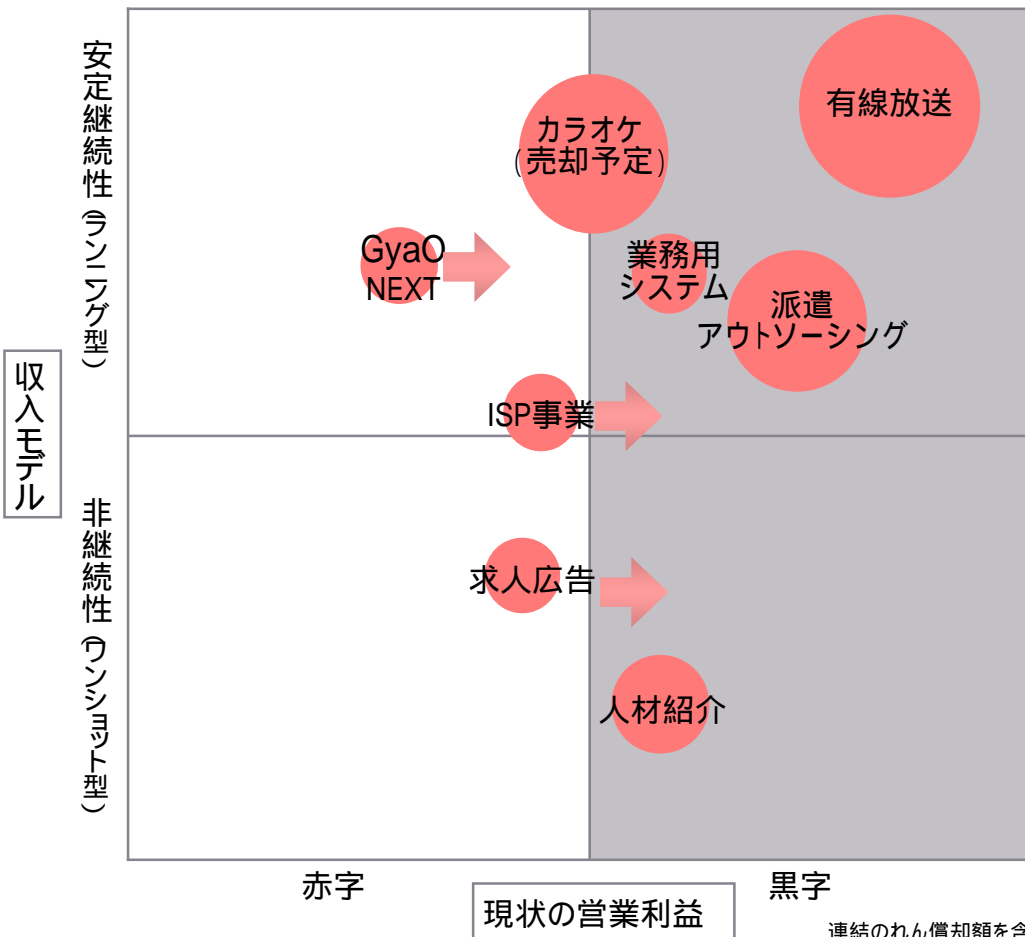
2010年8月期 業績予想につきましては2009年9月30日付
「連結子会社の株式譲渡に関する基本合意書締結のお知らせ」にて公表したとおり、
株式会社BMBの株式譲渡を予定しており、変動要素が大きいことから、
現時点では見通しを立てることが困難であるため、明らかになり次第公表いたします。

2010年8月期の各事業の方向性について

引続き放送事業を中心とした安定的にキャッシュフローを生み続けられるランニング型の事業に注力

事業ポートフォリオ

●の大きさは売上規模を表す



今期の方針

放送・業務店

- ・放送事業: 最注力事業として、業務店市場を更に深耕
- ・カラオケ事業: 業務提携は継続
- ・業務用システム事業: 地デジ需要や病院向けの販売を強化

ISP

- ・積極投入した営業人員の生産性を向上
- ・販管費等のコスト圧縮による黒字化

映像・コンテンツ

- ・GyaONEXT早期黒字化に向けた取り組み
 - NTTフレッツとのセット販売による「GyaONEXT」「USEN onフレッツ」の拡販
 - ミニマムオペレーションによる早期の黒字化
 - コスト構造見直しによる収支の均衡

人材関連

- ・人材紹介事業: 対応領域の拡大(高年収、ナース、販売等)
- ・派遣アウトソーシング事業: 強みであるITアウトソーシング領域に注力
- ・メディア事業: WEBと紙媒体の両方を持つ強みを生かしメディアミックスでシェアを奪回

添付資料

【参考】 KPI

各種指標	FY08(44期)				FY09(45期)				
	1Q (9月~11月)	2Q (12月~2月)	3Q (3月~5月)	4Q (6月~8月)	1Q (9月~11月)	2Q (12月~2月)	3Q (3月~5月)	4Q (6月~8月)	
放送・業務店事業*1									
売上高	(M)	31,208	33,110	30,424	36,247	29,500	29,784	24,726	25,356
営業利益	(M)	2,687	6,432	4,011	6,494	3,021	4,181	2,419	3,254
有線放送売上高	(M)	16,164	14,690	14,891	15,705	15,292	13,853	13,670	11,745
総加入者数	(千人)	1,133	1,110	1,080	1,069	1,062	1,057	1,029	974
カラオケ売上高	(M)	11,315	13,679	11,299	14,595	10,663	11,955	7,867	9,312
開局累計台数	(千台)	116	111	112	111	109	109	107	105
映像コンテンツ事業*2									
売上高	(M)	4,296	5,761	7,238	7,071	5,190	4,816	4,210	1,669
営業利益	(M)	1,965	4,725	2,302	251	582	1,034	800	1,792
GyaO売上高	(M)	1,462	1,166	1,238	1,530	1,100	780	-	-
総加入者数	(千人)	16,956	18,300	19,538	20,491	21,431	22,361	-	-
GyaO NEXT売上高	(M)	449	659	1,009	1,705	1,075	1,021	1,046	154
総加入者数	(人)	66,781	69,820	71,760	73,159	85,225	85,640	92,180	99,952
ISP事業*3									
売上高	(M)	8,352	9,237	10,259	9,483	6,696	4,094	4,594	4,256
営業利益	(M)	74	683	793	818	439	409	216	1,613
総取付数	(千件)	639	666	697	742	760	765	241	250
個人取付数	(千件)	609	635	659	689	702	704	185	193
法人取付数	(千件)	30	31	38	53	58	61	56	57
人材関連事業*4									
売上高	(M)	23,200	21,961	22,946	20,934	20,061	16,116	15,018	13,466
営業利益	(M)	1,533	664	381	265	477	543	486	29
キャリア事業売上高	(M)	5,991	5,844	5,904	5,024	4,430	3,378	2,750	2,237
サポート人数	(人)	3,296	3,336	3,479	2,721	2,497	1,935	1,730	1,393
平均CO数	(人)	301	300	293	320	383	352	275	241
平均手数料	(千円)	1,347	1,331	1,316	1,309	1,281	1,285	1,268	1,201
生産性	(人)	11.0	11.1	11.9	8.5	6.5	5.5	6.3	5.8
派遣・OS事業売上高	(M)	11,474	11,232	11,507	11,529	11,154	9,773	9,068	8,829
平均稼働者数	(人)	8,758	8,962	8,938	8,663	8,133	7,107	7,438	7,470
メディア事業売上高	(M)	5,937	5,321	5,405	4,553	4,866	3,405	3,092	2,789
平均営業人数	(人)	779	765	733	748	755	665	560	544
平均出稿社数	(千社)	15.2	13.4	14.1	12.6	13.1	10.7	10.5	9.6

- *1 放送・業務店事業の売上高、営業利益はUSENグループ会社アルメックス(業務用システム導入)の業績が含まれております。
- *2 GyaO、GyaONEXTの売上高は月次決算の合計となっております。
- *3 ISP事業の総取付数、個人取付数、法人取付数は、当社持分法適用会社である株式会社UCOMを含めたグループ会社の合算となっておりますが、FY09Q3より、株式会社UCOMの数値を除くグループ会社の合算数値となっております。
- *4 キャリア事業、派遣・OS事業、メディア事業の売上高は月次決算の合計となっております。

免責事項

本資料は、信頼できると思われる各種数値に基づいて作成されておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料に記載されている、USENの計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素によりこれらの業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知置き下さい。

本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成しております。本資料に記載されるいかなる情報も、投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料内では管理会計上のセグメントとして「放送業務店事業」、「映像コンテンツ事業」、「ISP事業」、「人材関連事業」として表記しております。但し、監査法人の監査は受けておりません。